

令和6年10月

大野市教育委員会定例会  
会議録

日 時：令和6年10月23日（水）午後3時30分～午後5時00分

場 所：大野市役所 談話室



大野市教育委員会 10月定例会 次第

令和6年10月23日（水）午後3時30分～  
大野市役所 談話室

1 開会

会議録署名人 馬道委員 松谷委員

2 9月定例会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第68号 令和6年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価  
報告書案について

議案第69号 大野市文化財保護審議会委員の選任について

議案第70号 大野市博物館運営協議会委員の選任について

5 付議事項

1) 令和6年9月第440回大野市議会定例会の結果について

資料1

6 その他

1) 使用料・手数料にかかる受益者負担の算定基準案について

資料2

2) こどもの遊び場のロゴマーク決定について

資料3

3) 11月行事予定について

資料4

・定例教育委員会 11月20日（水）午後3時30分～ 大会議室

4) 9月の業務報告について

資料5

5) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員	馬道保
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
	委員	羽生たまき
事務局（説明者）	事務局長	横田晃弘
	教育総務課長	土蔵郁代
	学校教育審議監	山川龍一
	こども支援課長	山崎勝彦
（書記）	教育総務課課長補佐	森永奈緒子

<傍聴者>

なし

## 【開会】

【教育長】ただいまから大野市教育委員会10月定例会を開会する。

## 【教育理念唱和】

## 【会議録署名人】

【教育長】本日の会議録署名人は、馬道委員、松谷委員にお願いする。

## 【9月定例会教育委員会会議録の承認について】

【教育長】事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】9月定例会会議録については事務局からの提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】事務局の提案どおり承認する。

## 【教育長重要事項報告】

【教育長】本日は、「視察研修」についてお話させていただく。先般、石川県立図書館への研修にご一緒させていただいた。たいへん有意義な研修でとてもありがたかった。感じる所が多くあったが3つに絞ってお話させていただく。

1点目は、螺旋状に上昇する正に宇宙を想像させる独特の空間と多分野にわたる書籍を前に自分の小ささに衝撃が走ったことである。自分はここにある書籍の何冊に触れただろう。事実、目にする書籍は初めてのものばかりであった。自分が何も知らない存在であることを痛感した。

2点目は、読書とあまり距離が近くない自分であっても、丸1日あの場所で過ごせそうな気分になったことである。目に留まった1冊を手を、椅子に腰を下ろし、時には外の景色を見ながら、時にはカフェに行きながら、正に開館から閉館まで居られそうであった。まわりに干渉されず、自分だけの空間と時間が保障されている場所だった。とても新鮮な感覚だった。

3点目は、あの場所は図書館という建物ではあるが、それ以上に知が結集した脳を想像した。ドーム型の空間は正に人間の脳をイメージさせた。文字化された書籍の精密で深い知とインターネットによる膨大な情報を組み合わせることにより、あの場所に居ながらにして無限大の知に手が届く感覚があった。

図書館を出て現実に戻ると、その知の空間は横に置かれてしまい、SNSによる情報だけが飛び交っているように思えた。事実、情報機器の普及により、読書離れが懸念されている。読書は論理的な思考や豊かな情操を育くむには欠かせないものであることは、多くが認めるところであるにも関わらずである。

本市では、第4次大野市子ども読書計画が進行中である。大野市図書館は多くのアイデアを形にしながらか、広く読書の普及に献身的な取り組みを進めている。子どもの頃から身近に本が周りにある環境が欠かせない。改めて、本計画の着実な遂行の必要性を考えさせられた研修であった。後ほど、委員各位からも研修についてお話を伺えるとありがたい。

## 【議事】

【教育長】議案第68号 令和6年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価報告書案について、事務局の説明をお願いします。

――<事務局長説明>――

【教育長】議案第68号についてご意見、ご質問等があればお願いします。

【馬道委員】不登校児童生徒の達成状況だが、成果指標の3倍近く増えている。実際の不登校の児童生徒の人数が、令和4年度から5年度までにどのくらい増えたかは分からないが、新規に不登校になった子が増えたということなのか教えてほしい。令和6年度に中学校が統合されて心配をしていたが、市議会の報告資料には、令和6年度はそれほど多くなく、かえって減っているという状況が書いてあったので安心したが、令和5年度の状況が心配になった。それから学校が楽しいと答えている人数も小学生では成果指標に比べて達成状況があまり良くない。やはり学校が楽しくないと、不登校になりがちだという気がするが、学校が楽しいと答えている割合が減ったことと、不登校が増えたことが何か関係あるか。不登校が増えていくなら、支援員の数を増員する方法や、教室や学校に来られない児童生徒に対してタブレットを使ってオンラインで指導をするなど、教育環境を整える方法も整備していかないといけないのではと思う。

【学校教育審議監】令和5年度までは確かに新規の不登校は多かった。今年度については、学校再編等もあったが、新規の不登校が極端に少なくなったおかげで不登校の人数が減っている。不登校は、新規の人数をいかに減らすかということに大きなウエイトがかかっているが、令和5年度については、なかなかその辺りがうまくいかなかったということである。学校が楽しいと答える生徒の割合が、中学生は成果指標と同じポイントになっているが、小学生については残念ながら下回った。勉強や授業がよく分かると学校が楽しくなると思うが、令和5年度については、学力調査の結果もあまり良くなく、この学力調査を活用した授業改善や、学力向上の方策などがうまく機能していなかったのではないかと反省がある。昨年度、学力向上研修会のやり方を検討し直したことで、今年度はその成果があらわれてきている。またそれをさらに1歩進めた形で、指導主事を中心に今年度の研修会を計画している。児童生徒が学習がよく分かるようになり、一緒に学習することが楽しい、だから学校が楽しい、という結果が出せたら良いと考えている。

――<その他意見・質問なし>――

【教育長】議案第68号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

――<異議なし>――

【教育長】議案第68号について、事務局の提案どおり承認する。

議案第69号 大野市文化財保護審議会委員の選任について、事務局の説明

をお願いする。

——<事務局長説明>——

【教育長】議案第69号についてご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第69号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第69号について、事務局の提案どおり承認する。

議案第70号 大野市博物館運営協議会委員の選任について、事務局の説明をお願いする。

——<事務局長説明>——

【教育長】議案第70号についてご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第70号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第70号について、事務局の提案どおり承認する。

#### 【付議事項】

【教育長】付議事項1) 令和6年9月第440回大野市議会定例会の結果について、事務局の説明をお願いする。

——<事務局長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】付議事項1) については、以上とする。

#### 【その他】

【教育長】その他1) 使用料・手数料にかかる受益者負担の算定基準案について、事務局の説明をお願いする。

——<総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】その他1) については、以上とする。

その他2) こどもの遊び場のロゴマーク決定について、事務局の説明をお願いする。

——<こども支援課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いする。

【羽生委員】ロゴマークのお城の横に描かれているものは何か。

【こども支援課長】遊び場のシンボルである滑り台が描かれている。

——<その他意見・質問なし>——

【教育長】その他2) については、以上とする。

その他3) 11月行事予定について、事務局の説明をお願いする。

——<各課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】その他3)については、以上とする。

その他4) 9月の業務報告について、説明は省略するが、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】その他4)については、以上とする。

その他5) その他で、事務局から何かあるか。また、委員からも何かあればご発言いただきたい。

【学校教育審議監】通学区域審議会について報告させていただく。第3回通学区域審議会では、同じ小学校から同じ中学校に通えるようにするための方策として、現在、有終東小学校から開成中学校に通っている地区については、今後、有終南小学校に入学するということについて意見の一致を見たところである。時期はまだ決まっていないが、現在の5歳児以下の子どもたちが、有終南小学校に入学ということが基本的な考え方となる。その際、個別のいろいろな事情があるので、それらについては丁寧に対応する必要がある。しかし、なるべく早く決定をして、その後の丁寧な説明や丁寧な対応をしっかりとしていくべきだというご意見をいただいた。今後、通学区域変更の時期について検討しなければいけない。現在有終東小学校に在学している子どもたちが進学する中学校はこれまでどおりの開成中学校になることについても丁寧な対応が必要だということで、有終東小学校の当該地域の保護者を対象とした座談会を11月6日に行う予定である。それから、10月30日には再度、当該地区の未就学児の保護者の皆さんに、今後は有終南小学校に入学するということについての説明と、その時期についてご意見をお伺いするための座談会を行う。それに先立ち、10月29日の有終東小学校就学時健康診断には5歳児の保護者が集まるので、その場で現在の審議会の動きについて説明をさせていただき、翌日の座談会へのご案内もしたいと思っている。第4回通学区域審議会は11月14日に開催するので、次回の定例会でまたご報告をさせていただきたい。

【こども支援課長】先ほどの「OSORA」に関連して、こどもまんなかな取り組みとして、子ども連れが利用しやすい飲食店を募集し、現在11店舗を登録している。例えば設備では、個室が設けられていたり、おもちゃや絵本が置いてあったり、またサービスでは、キッズメニューがあったり、離乳食の持ち込みができたりするようなお店である。ホームページで紹介しているので、機会があれば見ていただきたい。来年1月に施設がオープンするので、それに向けての紹介ということで、11月末まで募集をしている。

【松田委員】先日の視察研修について、石川県立図書館を見せていただいたが、単に図書を見に来るという基本概念ではなく、人に集まって来てもらうという基本概念でやっているのが、良い考え方だと思った。市内の施設をあれだけのお金をかけて造るとするのは、現在の大野市の財政規模では無理だと思うが、どんなものを造るにしても、図書を見に来るとか、子どもが遊びに来るというだけでなく、他に付加価値をつけて、人が集まったり、いろんな交流ができるような場所としての施設づくりを今後は進めていくべきだと思う。大野城や内山家などいろんな施設があるが、ただ見に来てもらうとか、ただそこへ行くというだけじゃなく、なにかワクワクするものがあるとか、そこ

へ行くと楽しくなるような施設づくりというものを、今後していけたら良いと思う。

【松谷委員】石川県立図書館は興味があったので、とても楽しみにしていた。施設の中に入った瞬間にワクワクするような空間づくりと、提供する側の趣向を凝らした説明が一つ一つ丁寧にプログラミングされていて、仕掛けづくりというものを、作る側も楽しんで提供していると感じる施設だった。それを受けて来館する側としても、1日中でも楽しめるし、どんな場所に座ってもこの場所だったらこの本を読みたいという気分させてくれるような空間づくりと、趣向を凝らした提供の仕方というのをすごく感じた。こんな施設がもっと造られていくと良いと思った。本日、中学校の図書館も見ってきたが、子どもたちがワクワクするような学校の空間づくりに繋がっていくと良い。県立図書館にはたくさんの子どもが交流する場所があって、靴を脱いで、自由に図書に触ったり、親子連れで遊べるような場所だった。研修の日は平日だったので、参加している家族はそれほど多くなかったが、赤ちゃん連れが2組いらっしゃって、お互いに全然面識のない親子だったのに、「昨日もいらっしゃいましたよね」「そうですね。昨日も会いましたね」という会話をされていて、あの場所に行くことで人とつながれるという親子の強みというか、何か精神的にも守られていくのではないかという繋がりも感じ、このような施設は大事だと感じた。その後行った国立工芸館では、地元に住んでいる人や、地元出身の若いアーティストが作品を出展していたが、国の施設が地方に来るということで、国を挙げて芸術作品を展示している施設で、地方のアーティストが活躍できるというのは、地方の強みになるのではないかと思った。地方で育っても、芸術の世界を自信を持って歩いて行けるという思いにさせてくれる施設が近くにあるのは素晴らしいことである。工芸館の周辺には、すべて歩いて回れる範囲に多くの施設があり、大野市もそういうところは真似ができると思うので、徒歩圏内で何かワクワクする施設を見つけられるようなエリアができることを希望する。

【羽生委員】NHKのドキュメンタリー番組で取り上げられており、行ってみたい場所の1つだったので、この機会が本当にありがたかった。私は県立図書館でいろんな方にインタビューをさせていただいた。図書館ではあるが、家庭以外の空間の中で、それぞれの方がお気に入りの場所、自分だけの居場所を見つけられる空間だということを非常に感じた。手前のエントランスで1人の高齢の方が声をかけてくださり、石川を代表する輪島塗りや金箔や、九谷焼の作品の説明をずっとして下さった。「私はこの場所が好きで、機会があればお話をさせていただいて、見ていただいているんです。」と、熱意を持って話されていて、この方にとって、この場所はそういう場所なんだと感じた。漫画のコーナーもあり、若い方が読んでおられたので、いつも来られるのか聞いてみると、「家ではなかなか読みづらいたけど、図書館なら堂々と読めるからここが好きなんです。」とおっしゃった。また、設計に携わっている家具の有名な管理職員の方もいらっしゃったし、いろんな場所のいろんな椅子に座っていらっしゃる方もいたし、オープンなスペースで何かひと肌を感じながら作業されている方もいれば、格子戸の密室のような場所で楽しんでいらっしゃる方もいた。皆さん、自分の居心地が良い場所を見つけておられた。その後子どもルームの方に行ってみると、一組の親子が、畳一畳ほど

の大きさの布を広げると物語になっている本を読まれていて、「毎日ここに来て、毎日同じものを見たいと言うので、ここへ連れてくるんです。」とおっしゃられていた。お友達になったお母さん方もいらっしゃるそうだ。また、車椅子のお子さんは、その子どもの部屋から中庭に出られるコーナーがあったのだが、ここが一番のお気に入りの場所なんだとおっしゃられていた。いろんな方に生の声を聞かせていただいて、利用される側からの居場所づくりや空間の提供が、利用する側の思いとすごくマッチングしているのだと感じた。図書館の周りで行けるところが点在ではなく、線で繋がって面的にまちづくりとして生かされているという点も、参考にできる部分であった。

もう1点、今日の議案の中で、不登校の数やいじめの数について、再編ということが皆さんの心にどんな負担があるのかとても気になっていた。卒業式に出させていただいて衝撃を受けたのは、再編が行われる前年、前々年度から再編を見越して、仲良しだった子どもたちが住所を移して別の中学校を選択することが多く見られた。市議会の報告資料を見ると、今年度は良い方向ではあるようだ。学校に来られない子は、もちろんケアはしてあげないといけないが、当たり前のように学校に行けて楽しいと答えている91%の頑張っている子も、こぼれ落ちないように見ていただきたいと思う。

【馬道委員】文化会館の場所が移ると、図書館やいろんな歴史の施設が揃うことになるので、場所的には良いと思う。2つ目は、何か催し物があるから行くということではなく、文化や芸術、音楽などに関係なく、その施設に行くと何かゆっくりできると思えることをイメージして造っていただけるとありがたい。特別に今日はイベントはないけれど、この場所はゆっくりできるという憩いの場になると良いと思っている。

【教育長】視察研修に関してはいろんな角度から見ていただけてありがたい。学校改修の状況も見ていただいたが、メディアセンターを見ても、子どもたちが楽しく集えるような仕掛けをしようというところが見える。2つの中学校は特に、子どもたちに対して非常に細かい配慮をしながらこの半年を過ごしてきたということがよく見て取れる。まだまだ考えていかななくてはいけないところがあると思うので、またいろんなご意見を伺いたい。

#### 【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会10月定例会を閉会する。

午後5時00分終了

令和6年10月23日

---

(馬道委員)

---

(松谷委員)